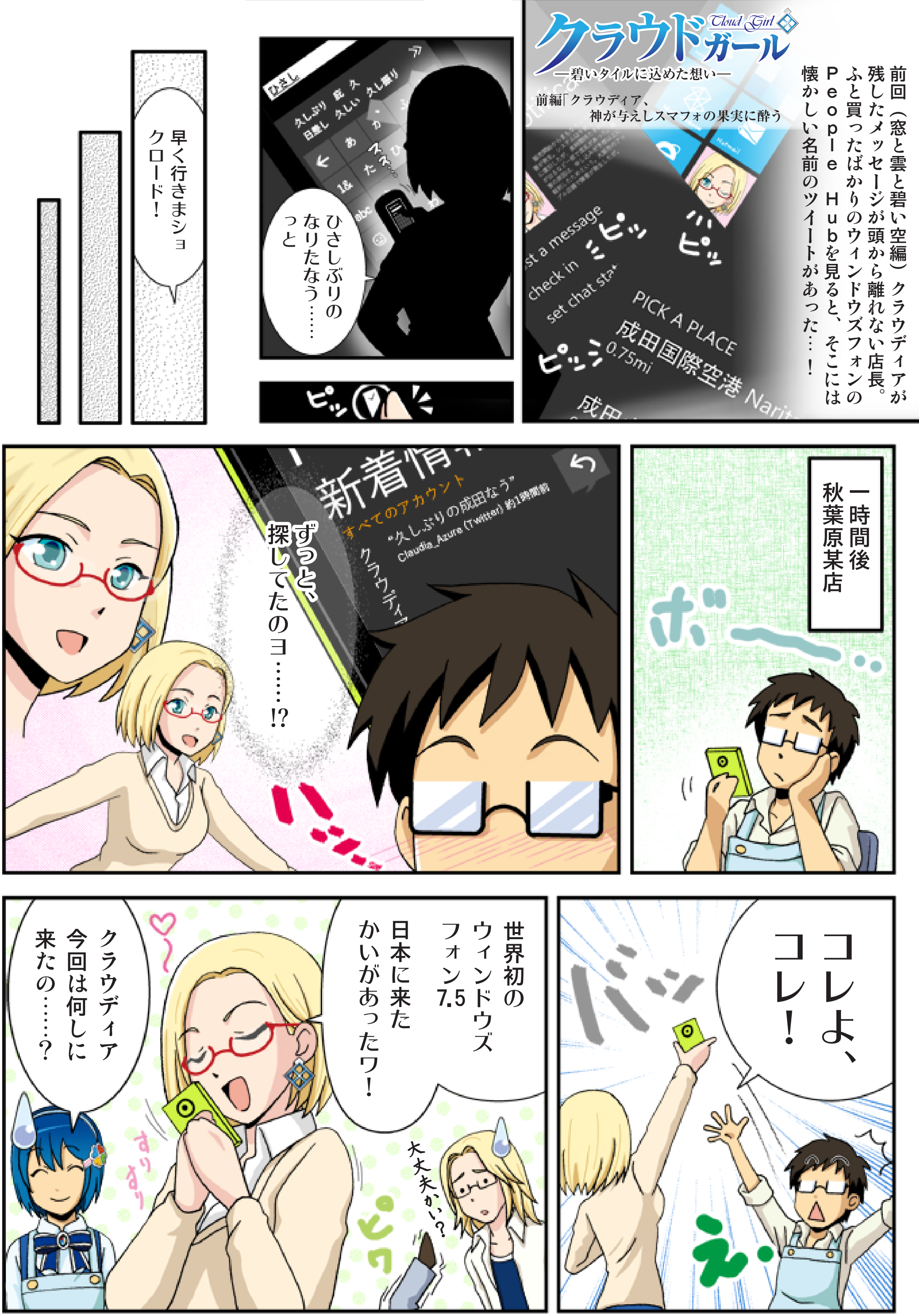
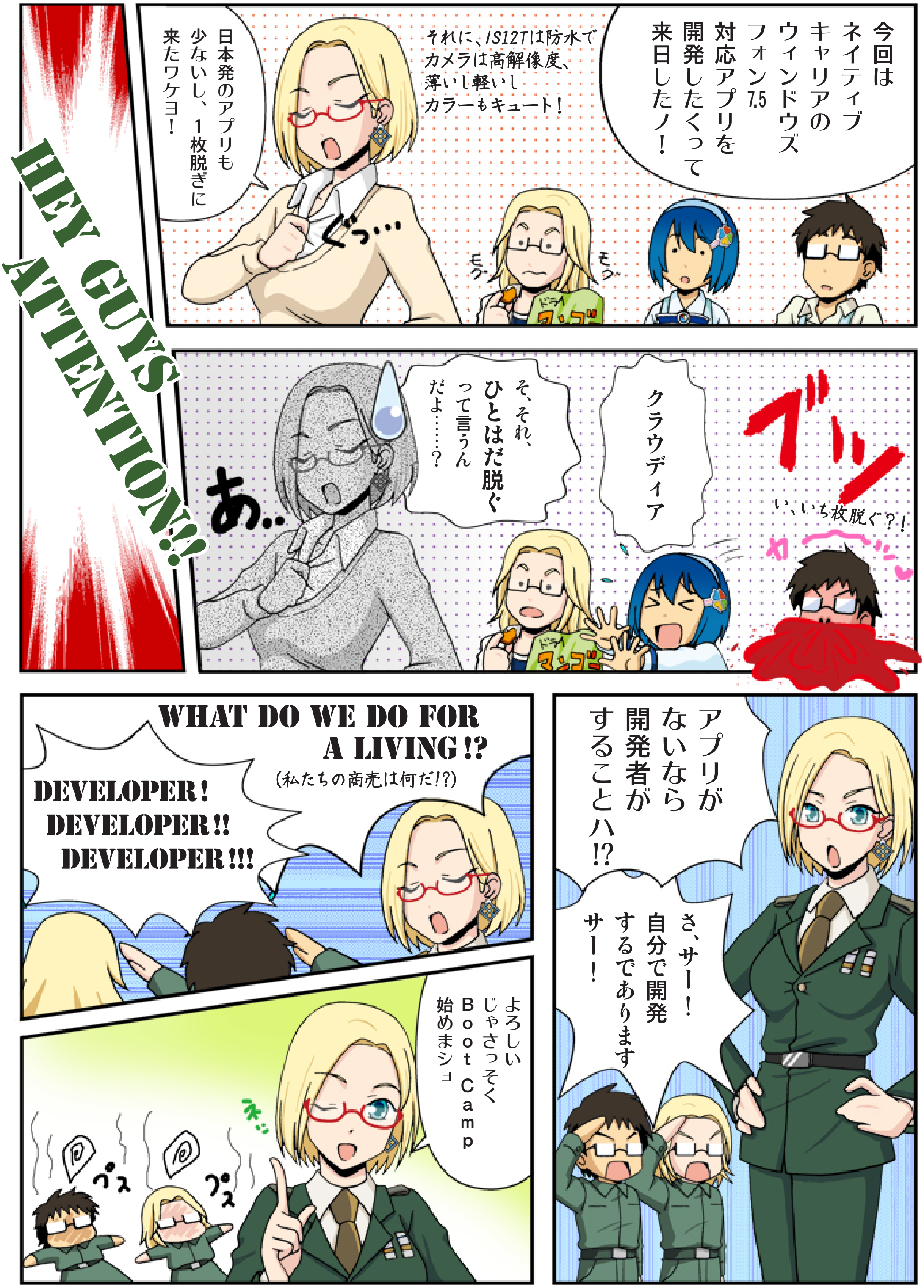

クラウドガール
Cloud Girl
—碧いタイルに込めた想い—
前編「クラウディア、神が与えしスマフォの果実に酔う」
前回（窓と雲と碧い空編）クラウディアが残したメッセージが頭から離れない店長。ふと買ったばかりのウィンドウズフォンのPeople Hubを見ると、そこには懐かしい名前のツイートがあった…！
ピッ
ピッ
check in
PICK A PLACE
成田国際空港
0.75mi
ピッ
ひさしぶりのなりたなう……っと
ピッ
早く行きまショクロード！
一時間後
秋葉原某店
ボ〜〜…
新着情報
すべてのアカウント
"久しぶりの成田なう"
Claudia_Azure (Twitter) 約1時間前
ずっと、探してたのヨ……!?
ハッ
コレよ、コレ！
バッ
え
世界初のウィンドウズフォン7.5日本に来たかいがあったワ！
クラウディア今回は何しに来たの……？
すりすり
ピクッ
大丈夫かい？


今回はネイティブキャリアのウィンドウズフォン7.5対応アプリを開発したくって来日したノ！
それに、IS12Tは防水でカメラは高解像度、薄いし軽いしカラーもキュート！
日本発のアプリも少ないし、1枚脱ぎに来たワケヨ！
ぐっ…
HEY GUYS ATTENTION!!
クラウディア
そ、それ、ひとはだ脱ぐって言うんだよ……？
あ…
ブッ
い、いち枚脱ぐ？！
アプリがないなら開発者がすることハ!?
さ、サー！自分で開発するであります　サー！
WHAT DO WE DO FOR A LIVING !?
(私たちの商売は何だ!?)
DEVELOPER !
DEVELOPER !!
DEVELOPER !!!
よろしいじゃさっそくBoot Camp始めまショ

まずは APP HUB で 開発者登録から



Windows Phone アプリケーションを開発し、公開するには開発者として登録する必要があるんだ。そのためのポータルサイトが「APP HUB」だよ。APP HUB を通じてアプリケーションの登録や更新、ダウンロード数などのチェックができるんだ。

登録には Windows Live ID が必要だ。普段使っている Live ID でもいいし、別のメールアドレスをLive ID として登録しても OK だ。あとは登録費用の支払いと個人認証を行うためのクレジットカードだけ※。学生なら Dream Spark プログラムを通じて、無料で登録できるから、利用しない手はないね！

APP HUB:
http://create.msdn.com

登録方法:
http://create.msdn.com/ja-JP/home/membership

※個人・法人登録ともに年間9,800円の登録費用がかかります。
法人登録では、このほかに書類と第三者機関による住所確認が必要です。詳しくは APP HUB 掲載の資料をご覧ください。



Windows Phone SDK は無償で提供



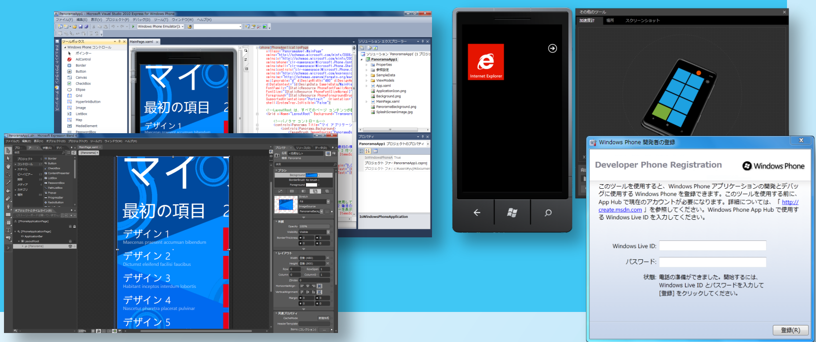
APP HUB へ登録が済んだら、次は開発環境ネ！
Windows Phone アプリケーションの開発には、Windows Phone SDK 7.1 が無料で公開されているワ。この Windows Phone SDK には、Visual Studio をはじめ Windows Phone アプリケーション開発に必要なすべてが詰まっているノ※1 。

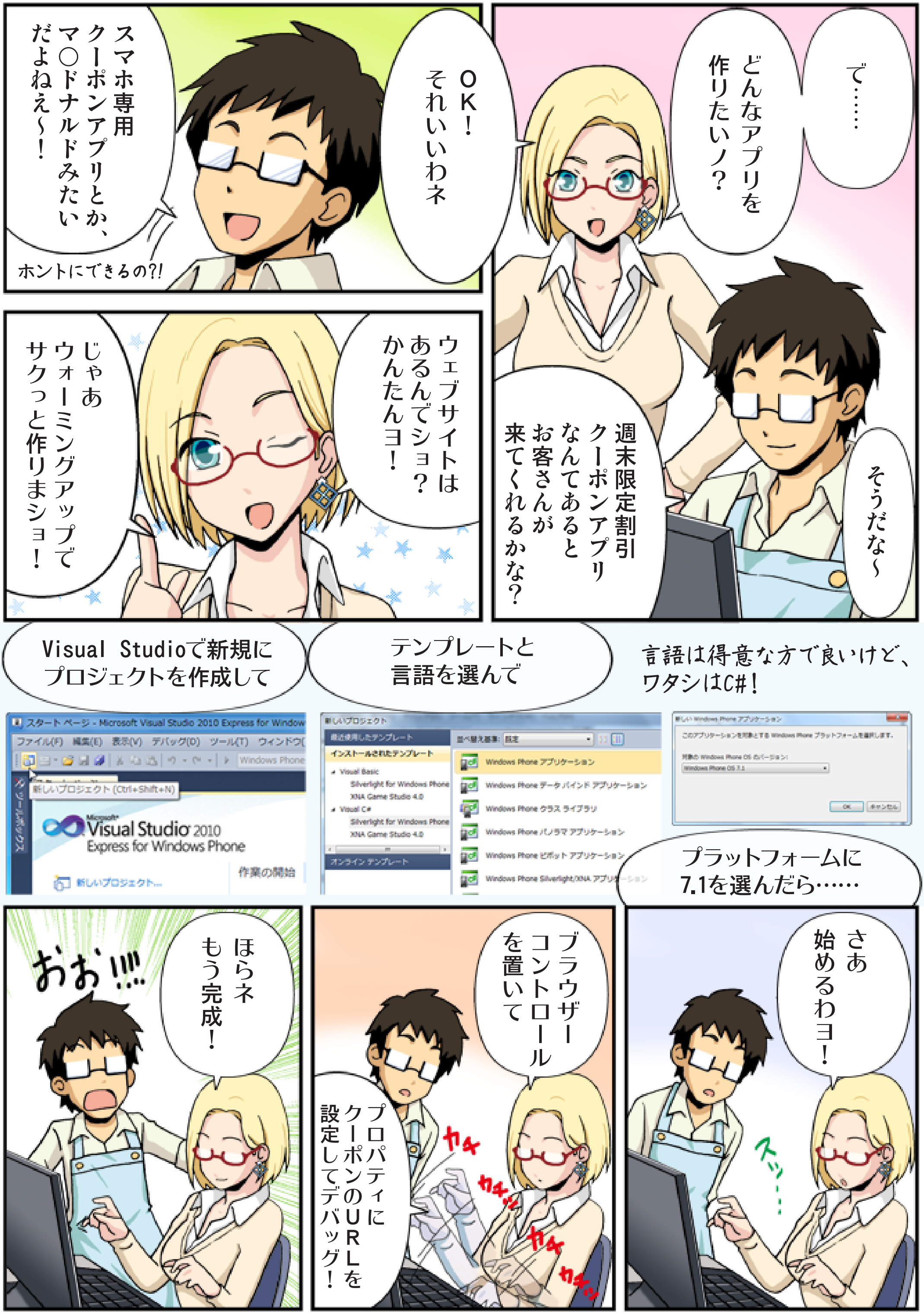
アプリケーションテストのための Windows Phone エミュレーターも入っているから、デバイスを買わなくても開発・テストを進めることができる、最強の開発環境ヨ！

Windows Phone SDK 7.1 ：　http://bit.ly/wpsdk71j

APP HUB の登録者なら Windows Phone デバイスを使ってデバッグもできるワ。
SDK の[Windows Phone Developer Registration] でデバイスを登録すれば OK 。ね、カンタンでショ？※2

※1 Visual Studio、Expression Blend、XNA Studio、各種 SDK、エミュレーターが含まれます
※2 開発環境とデバイスの接続には Zune Software (http://zune.net) が必要です。デバイスは1アカウントで最大3台まで登録可能です





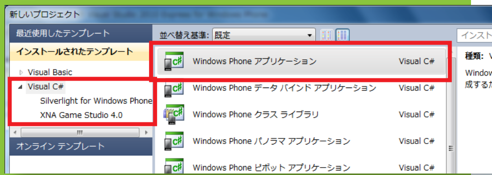
で……
どんなアプリを作りたいノ？
そうだな～
週末限定割引クーポンアプリなんてあるとお客さんが来てくれるかな？
スマホ専用クーポンアプリとか、マ〇ドナルドみたいだよねえ～！
ホントにできるの?!
OK！それいいわネ
ウェブサイトはあるんでショ？かんたんヨ！
じゃあウォーミングアップでサクっと作りまショ！
Visual Studioで新規にプロジェクトを作成して
スタート ページ - Microsoft Visual Studio 2010 Express for Window
新しいプロジェクト (Ctrl+Shift+N)
Visual Studio 2010
Express for Windows Phone
新しいプロジェクト...
テンプレートと言語を選んで
Windows Phone アプリケーション
言語は得意な方で良いけど、ワタシはC#！
プラットフォームに7.1を選んだら……
さあ始めるわヨ！
スッ…
ブラウザーコントロールを置いて
プロパティにクーポンのURLを設定してデバッグ！
カチ
カチッ
カチ
カチッ
ほらネもう完成！
おお!!!

Windows Phone アプリ専用テンプレートでスピード開発！

Windows Phone SDK でインストールされる Visual Studio には、Windows Phone のアプリケーションに特化したさまざまなテンプレートが用意されているワ。目的に合ったものを選ぶだけで、とっても効率的よネ。それじゃ、さっそく始めまショ！

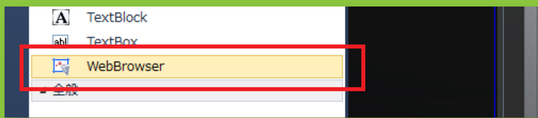
まず Visual Studio を起動して、今回はイチから Windows Phone アプリケーションを開発するから、[新しいプロジェクト]をクリックしてネ。

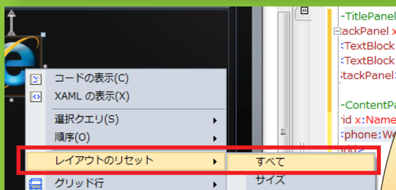
Visual C# か Visual Basic のどちらか開発言語を選んでから、アプリケーションの 種類を決めまショ。今回はシンプルな[Windows Phone アプリケーション]テンプレートを選んで、アプリケーションの名前を入力したら[OK]をクリック！　最後に対象OSの選ぶけド、日本向けのアプリケーションなら[Windows Phone OS 7.1]を選択すればOK よネ。



さぁ、いよいよ開発開始ネ。アプリケーションの画面は MainPage.xaml、対応したロジックはMainPage.xaml.cs (Visual Basic なら、~ .vb)に書いていくノ。ASP.NET のコードビハインドと同じイメージ、って言えばワカル？

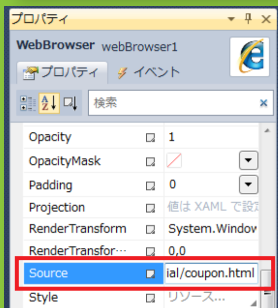
まずは画面を作るわヨ。画面左の[ツールボックス]から[WebBrowser]コントロールをアプリケーションの画面にドラッグ、右クリックして[レイアウトのリセット]-[すべて]で画面いっぱいに広げたら、プロパティの[Source]に表示させたいクーポンのURL※を設定しちゃいまショ。あとは MainPage.xaml の[ApplicationTitle]と[PageTitle]にアプリケーションに合わせたタイトルを入力して完成！
今回はロジック一切必要無しネ。



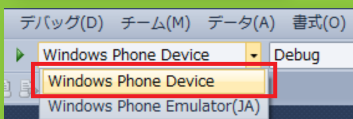


F5 キーを押すと、Windows Phone エミュレーターを使ってデバッグ実行できるのヨ。

エミュレーターの画面をクリックすると、画面のタップと同じように操作できるワ。アプリケーションを終了させるときには、エミュレーターの下に配置された[←]ボタンか[ホーム]ボタンをクリックしてネ。

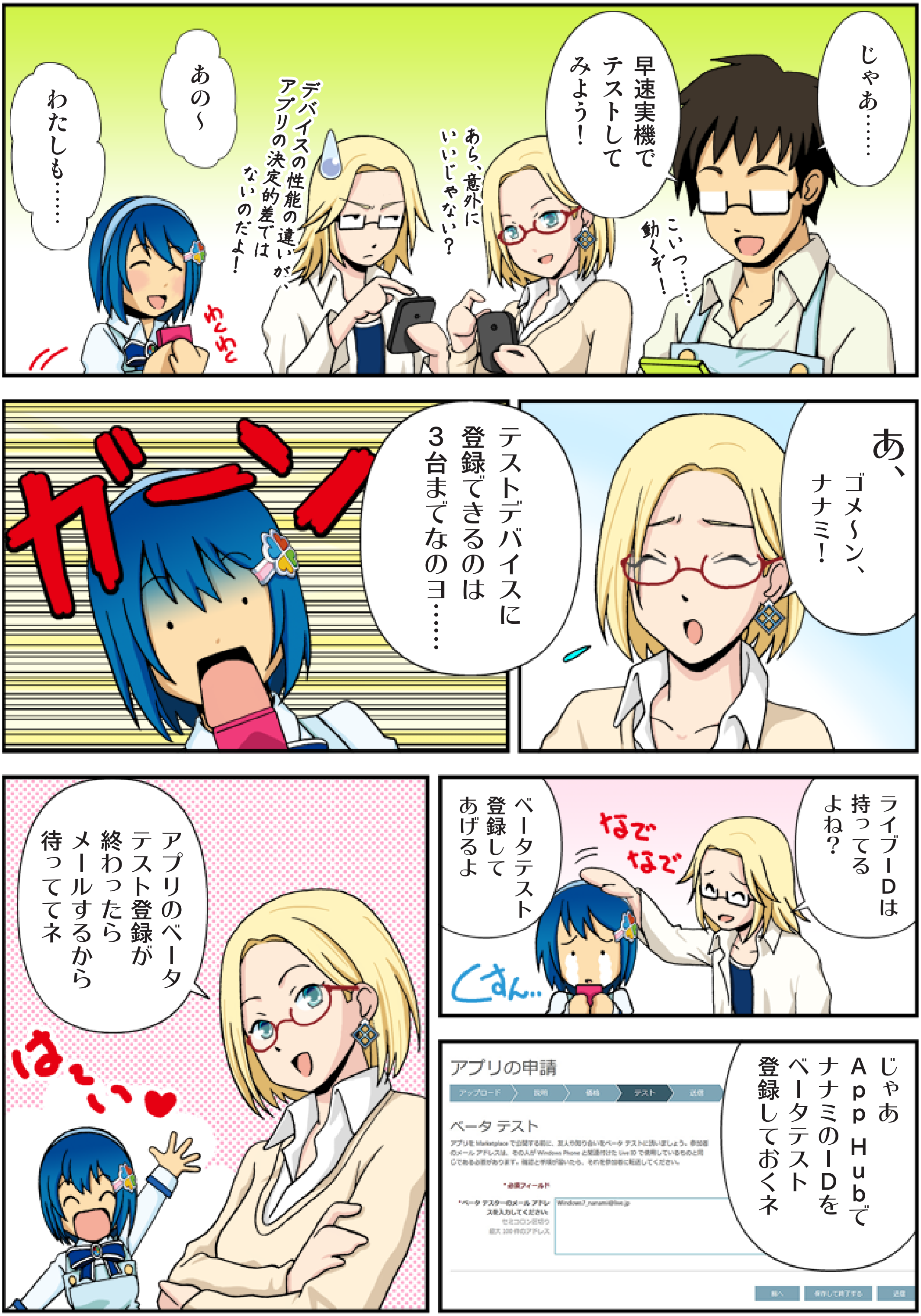


最後にデバイスでテストをしてみまショ。デバイスを接続したらVisual Studioのツールバーの[Windows Phone Emulator(JA)]を[Windows Phone Device]に変えてデバッグ実行でOK！
どう？　うまくデバイスで動作してル？



※URLに http://go.microsoft.com/?linkid=9786118 を設定すると、
上の解説と同じクーポンが表示できます





じゃあ……
早速実機でテストしてみよう!
こいつ……動くぞ!
あら、意外にいいじゃない?
デバイスの性能の違いが、アプリの決定的差ではないのだよ!
あの〜
わたしも……
わくわく
あ、ゴメ〜ン、ナナミ!
テストデバイスに登録できるのは3台までなのヨ……
ガーン
ライブIDは持ってるよね?
ベータテスト登録してあげるよ
なでなで
くすん…
じゃあ App Hubで ナナミのIDを ベータテスト 登録しておくネ
アプリの申請
アップロード 説明 価格 テスト 送信
ベータ テスト
アプリのベータテスト登録が終わったらメールするから待っててネ
は〜い♥

アプリ公開して世界デビュー



開発したアプリケーションを Marketplace で公開するには、アプリケーションパッケージ以外にアイコン画像とスクリーンショットを忘れないでネ。スクリーンショットはエミュレーターで撮れるワ。
アイコンはツール(http://wpiconmaker.codeplex.com/)を使うと簡単に作れるから試してみてネ。

・開発したアプリケーションのパッケージファイル(.xap)
・Marketplace公開用のアイコン用png画像(200x200, 173x173, 99x99)
・アプリケーションのスクリーンショット画像(480x800のpng画像最大8枚)
・Marketplace用の壁紙用png画像(1000x800) *任意
・アプリケーションの説明文とキーワード等

審査が心配な人にも、Visual Studioの[プロジェクト]メニューから[Marketplace Testkit を開く]でセルフテストできるから安心ネ。



画像を登録して説明を入れて Marketplace にアプリケーションをアップロードしたら、あとは待つだけ。そして審査にパスすれば…… Congratulations!アナタのアプリケーションは署名されて、いよいよ Marketplace に登録されるわヨ!だいたい、審査には3〜5営業日くらいかかるかナ?
もしも審査が通らなかった時でも、審査レポートにちゃんと理由が書いてあるから、修正してまた再チャレンジしてネ!

ベータテストやプライベート配布も可能



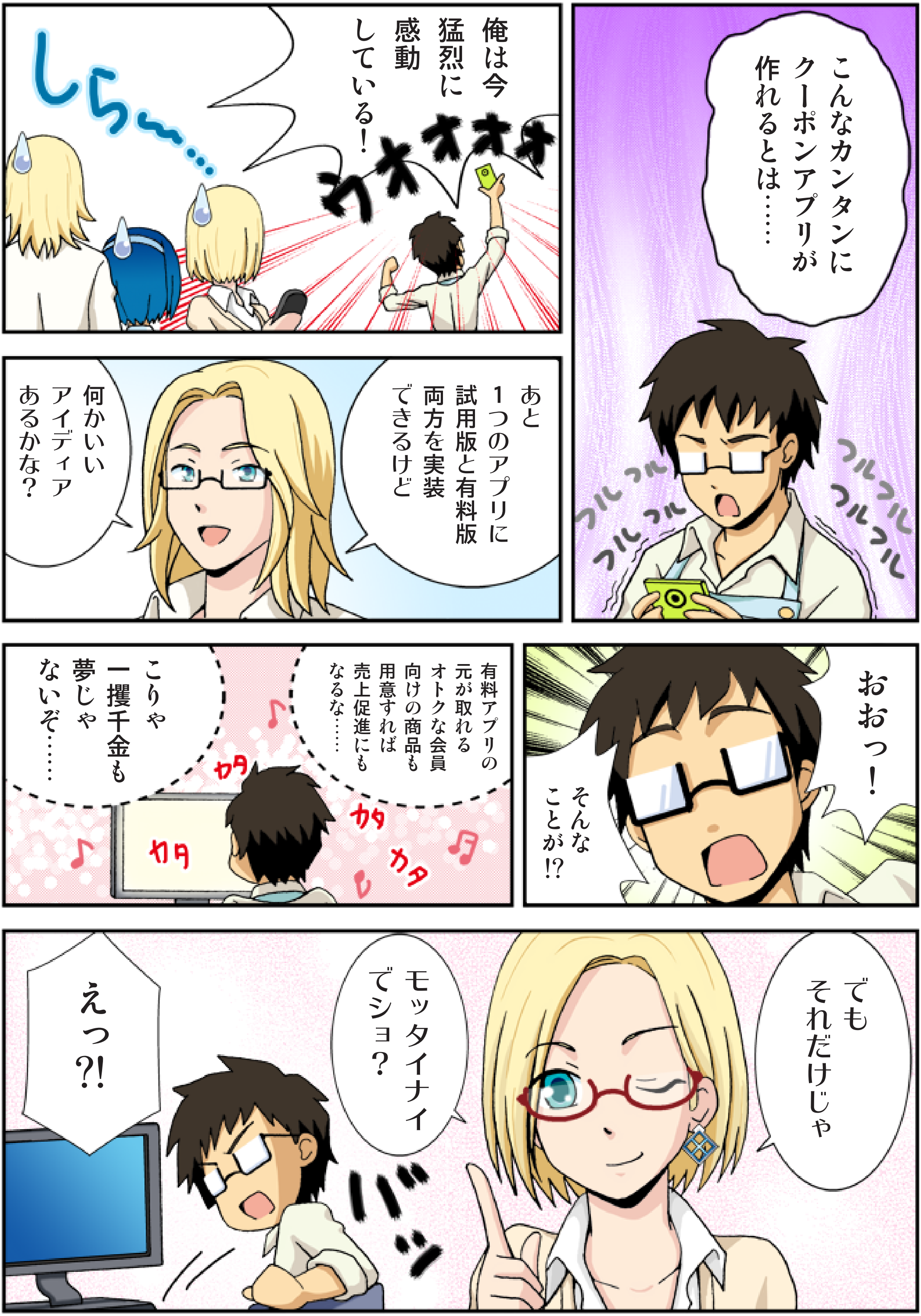
最後に、Marketplace で通常アプリケーションを公開するほかに用意されている2つの配布オプションについて説明するよ。開発や公開のスタイルに合わせてフレキシブルに使い分けよう!

ベータ配布
公開前に一部の人だけにテストしてもらうのに便利な配布オプションだよ。やり方は、アプリケーション申請時にベータ配布を選択することと、テスターとなるユーザーの Live ID を登録するだけで OK。ベータ配布は審査がないから、登録して比較的短時間でダウンロードできるのが大きなメリットだね。ただ Marketplace には公開されないから、テスターにインストール場所の URL を配布することを忘れないようにね。

プライベート配布



プライベート配布は、審査が完了しても Marketplace に公開されないオプションだ。こっちは通常の Marketplace への配布と同じように、すべての情報を入れて、審査を受ける必要があるよ。使ってほしい人にだけインストール場所の URL を送ってあげよう。



To be continued…